

(新規・完成・**主要**)事業箇所 (直轄・補助)事業

新穂高溪流保全工の整備推進
岐阜県高山市

災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

新穂高地区は、穂高岳の登山口であり、新穂高ロープウェイで自然環境を満喫できる観光拠点としても利用されていますが、上流域が脆弱な地質のうえ、多雨多雪な気象条件とも相まって近年においても平成9、10年と連続して土砂流出が発生、平成19年にも直上流で山腹斜面の崩壊が発生するなど危険な地区です。

また、新穂高地区を流下している蒲田川は、川幅が狭く宿泊施設等の保全対象が河岸に接近しているため土砂流出による被災の危険性が高い地区です。

整備効果

異常な流出土砂をスムーズに流下させることにより、保全対象（人家2戸、公共施設5戸）の安全を確保します。また、観光地であるため景観、親水性等に配慮しつつ観光インフラの整備を支援し、安全で住みよい地域の創出を図ります。

事業着手

平成17年度

平成22年度の事業内容

左俣谷左岸における護岸工の整備を推進します。



右俣谷の整備状況（H21年4月撮影）

(新規・完成・**主要**)事業箇所(直轄・補助)事業

がまだがわ

蒲田川流木対策の整備推進

ぎふ たかやま
岐阜県高山市

災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

神通川(高原川)では、平成11年や平成16年出水時に下流域(特に富山湾)で甚大な流木被害が生じています。このため、砂防施設による斜面崩壊等の抑止や、床固・砂防えん堤等施設に流木止を設置し流木を捕捉するなど対策を講じています。

蒲田川流域で発生する流木を捕捉するため、流木対策として、既存構造物を利用して流木捕捉工の整備を行います。

整備効果

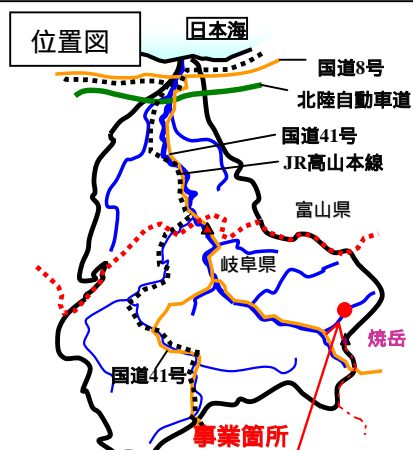
蒲田川に流木捕捉工を整備することで下流域の流木被害を軽減させます。

事業着手

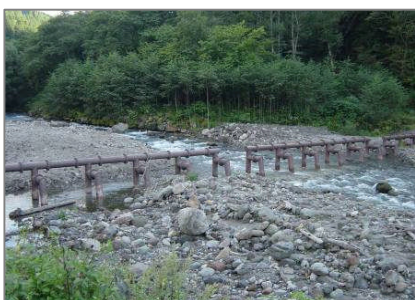
平成20年度

平成22年度の事業内容

流木対策の整備を推進します。



H11出水後の富山湾の状況



出水前の状況(平成17年9月撮影)
(しのぶ砂防えん堤上流)



平成18年7月出水後の流木捕捉状況
(しのぶ砂防えん堤上流)

(新規・完成・**主要**)事業箇所 (直轄・補助)事業

こぼらだに
小洞谷砂防えん堤群の整備推進
 ぎふ ひだ
岐阜県飛騨市

災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

小洞谷は、溪流内に同齢の針葉樹が密生し、下層植生の生育状況が悪く裸地化に伴う土石流の危険性が高い溪流です。さらに流域内には倒木が多く散在しており、流木災害の危険も高くなっています。小洞谷の下流には、一般民家や重要な幹線道路である国道41号があり、土石流に対する砂防施設の整備が急務となっています。また、小洞谷で土石流が発生した場合、直下を流れている山田川の河道が閉塞し、山田川下流の旧神岡町市街地への被害も予想されます。

このため、土石流危険溪流対策として2基の砂防えん堤を整備します。

整備効果

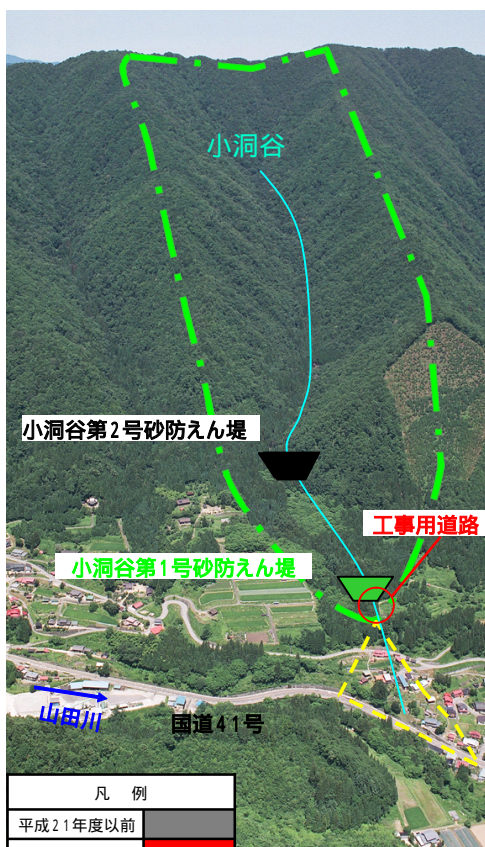
下流の一般民家や重要幹線道路の国道41号及び下流域への被害を軽減させます。

事業着手

平成19年度

平成22年度の事業内容

小洞谷第1号砂防えん堤の工事用道路の整備に着手し、用地取得を推進します。



凡 例	
平成21年度以前	■
平成22年度	■
平成23年度以降	■
小洞谷流域	---
はん濫想定区域	---



えん堤付近の倒木状況
 (H17.7.27撮影)



山田川出水時の状況(H11.9.15)